

木嶋 真優

Mayu Kishima (Violin)

木嶋 真優オフィシャル・ホームページ <http://www.japanarts.co.jp/artist/MayuKISHIMA>

(プロフィールにはホームページアドレスを記載していただきますよう、お願い申し上げます。)

2016年第1回上海アイザック・スターン国際ヴァイオリン・コンクールにて優勝。

神戸生まれ。3歳でヴァイオリンを始める。

2000年第8回ヴェニヤフスキ国際ヴァイオリン・コンクール・ジュニア部門にて日本人として最年少で最高位を受賞し一躍話題となる。2011年ケルン国際音楽コンクールのヴァイオリン部門で優勝、あわせてその優れた音楽的解釈に対し David Garrett 賞も受賞。

2004年6月 モスクワでスピヴァコフ指揮ロシアナショナル・フィルと共演し、地元紙では、「巨匠（ムステイスラフ・）ロストロポーヴィッチが『世界で最も優れた若手ヴァイオリニスト』と絶賛するにふさわしく、見事なテクニックと成熟した解釈で聴衆を圧倒した。」と評される。

レコーディングは、ウラディーミル・アシュケナージから強い推薦を受け、「アシュケナージ&NHK交響楽団」の“ツィガーヌ”に参加。そのほかソロCDは「シャコンヌ」、「Rise」をリリース。また、2016年5月にワーナー・クラシックスから発売されたアルゲリッチ&フレンズのライヴCDに、2015年のアルゲリッチ・プロジェクト「ルガーノ・フェスティヴァル」での演奏が収録されている。

現在日本とヨーロッパに拠点を置き、アメリカ、アジアにもその活動の場を拡げている。

これまでに林泉、戸上和代、江藤俊哉、ドロシー・ディレイ、川崎雅夫、小栗まち絵、工藤千博、ザハール・ブロン各氏に師事、2012年春にはケルン音楽大学を首席で卒業、2015年秋には同大学院を満場一致の首席で卒業し、ドイツの国家演奏家資格を取得、また2016年秋には神戸市より神戸市文化奨励賞を授与された。

2002年度文化庁海外派遣研修員。2012年NHK大河ドラマ「平清盛」紀行の音楽に参加。TBS「情熱大陸」にも出演、話題となった。

使用楽器は NPO 法人 イエロー・エンジェル、宗次コレクションより特別に貸与された Antonio Stradivari 1699 ”Walner”。

<http://www.japanarts.co.jp/artist/MayuKISHIMA>

(2018年12月現在、850字)

*プロフィールの一部を使用する場合、日数が経過している場合は、ジャパン・アーツの校正チェックをお受け頂きますようお願い申し上げます。

株式会社ジャパン・アーツ

<http://www.japanarts.co.jp>

〒150-8905 東京都渋谷区渋谷 2-1-6

TEL: 03-3499-8100 / FAX: 03-3499-8102

JAPAN ARTS CORPORATION

<http://www.japanarts.co.jp>

2-1-6, Shibuya Shibuya-ku,

Tokyo JAPAN 150-8905

TEL: 81-3-3499-8091 FAX: 81-3-3499-8092

木嶋 真優 Mayu Kishima (Violin)

2016年第1回上海アイザック・スターン国際ヴァイオリン・コンクールにて優勝。

2000年第8回ヴィエニャフスキ国際ヴァイオリン・コンクール・ジュニア部門にて日本人として最年少で最高位を受賞。2011年ケルン国際音楽コンクールのヴァイオリン部門で優勝、あわせてその優れた音楽的解釈に対し David Garrett 賞も受賞した。2012年春にはケルン音楽大学を首席で卒業。2015年秋には同大学院を満場一致の首席で卒業し、ドイツの国家演奏家資格を取得、2016年秋には神戸市より神戸市文化奨励賞を授与された。

レコーディングは、ウラディーミル・アシュケナージから強い推薦を受け、「アシュケナージ&NHK交響楽団」の“ツィガヌ”に参加。そのほかソロCDは「シャコンヌ」、「Rise」をリリース。

現在日本とヨーロッパに拠点を置き、リサイタル、オーケストラとの共演、室内楽など幅広く活動を行なっている。2002年度文化庁海外派遣研修員。

使用楽器は NPO 法人 イエロー・エンジェル、宗次コレクションより特別に貸与された Antonio Stradivari 1699 ”Walner”。

オフィシャル・ホームページ <http://www.japanarts.co.jp/artist/MayuKISHIMA>

(2018年12月現在、500字)

木嶋 真優 Mayu Kishima (Violin)

2016年第1回上海アイザック・スターン国際ヴァイオリン・コンクール優勝。

2000年第8回ヴィエニャフスキ国際ヴァイオリン・コンクール・ジュニア部門にて日本人として最年少で最高位受賞。2011年ケルン国際音楽コンクールのヴァイオリン部門で優勝、併せてその優れた音楽的解釈に対し David Garrett 賞も受賞した。2002年度文化庁海外派遣研修員。

2015年秋にはケルン音楽大学大学院を満場一致の首席で卒業、ドイツの国家演奏家資格を取得。

現在日本とヨーロッパに拠点を置き、意欲的に活動を行なっている。

使用楽器は NPO 法人 イエロー・エンジェル、宗次コレクションより特別に貸与された Antonio Stradivari 1699 ”Walner”。

オフィシャル・ホームページ <http://www.japanarts.co.jp/artist/MayuKISHIMA>

(2018年12月現在、350字)

*プロフィールの一部を使用する場合、日数が経過している場合は、ジャパン・アーツの校正チェックをお受け頂きますようお願い申し上げます。

株式会社ジャパン・アーツ

<http://www.japanarts.co.jp>

〒150-8905 東京都渋谷区渋谷 2-1-6

TEL: 03-3499-8100 / FAX: 03-3499-8102

JAPAN ARTS CORPORATION

<http://www.japanarts.co.jp>

2-1-6, Shibuya Shibuya-ku,

Tokyo JAPAN 150-8905

TEL: 81-3-3499-8091 FAX: 81-3-3499-8092

Mayu Kishima (violin)

First Prize winner in the First Shanghai Isaac Stern International Violin Competition in 2016.

In 2000, she caused a stir in the music world when she became the youngest-ever Japanese top prizewinner in the Junior Division of the 8th Wieniawski International Competition in Lublin. She became a laureate of the Queen Elisabeth International Music Competition of Belgium in 2009, and she was awarded First Prize in the International Music Competition Cologne in 2011.

In 2005, Kishima performed with the Orchestra dell'Accademia Nazionale di Santa Cecilia, conducted by Mstislav Rostropovich (Rome and Madrid, February); the National Symphony (Washington, D.C., May); the London Symphony Orchestra (London, June); and the Symphonieorchester des Bayerischen Rundfunks (Munich and other locations, July). She was praised by the influential Frankfurter Allgemeine Zeitung newspaper, which said: "She was made known to the world by Rostropovich in the same way that Karajan made Anne-Sofie Mutter famous and Maazel made Hilary Hahn famous."

Kishima has participated in several recordings thus far. On the strong recommendation of Vladimir Ashkenazy, who was the Music Director of the NHK Symphony Orchestra, she performed "Tzigane" on *Ravel: Orchestral Works*. The recording of her performance at the 2015 Progetto Martha Argerich festival in Lugano was included in the live recording CD *Argerich & Friends*, released on Warner Music in May 2016.

Her recent activities include concerts at the Martha Argerich festival in Lugano, where she performed with Martha Argerich and Misha Maisky; and concerts with Yuri Bashmet both in Japan and Sochi. In November 2018, she received high praise for her performance of the Shostakovich Violin Concerto No.1 with the Melbourne Symphony Orchestra conducted by Karina Canellakis in Melbourne, Australia.

In spring 2012, she graduated with the top grade from the Hochschule für Musik in Cologne, where she studied with Zakhar Bron. In autumn 2015, she graduated at the top of her class from the graduate school of the Hochschule für Musik, with all professors awarding her highest grades, and received Germany's national qualification for musicians.

The Antonio Stradivari 1699 "Walner" violin has been specially loaned to Mayu Kishima by the NPO Yellow Angel and the Munetsugu Collection.

(December 2018)

株式会社ジャパン・アーツ

<http://www.japanarts.co.jp>

〒150-8905 東京都渋谷区渋谷 2-1-6

TEL: 03-3499-8100 / FAX: 03-3499-8102

JAPAN ARTS CORPORATION

<http://www.japanarts.co.jp>

2-1-6, Shibuya Shibuya-ku,

Tokyo JAPAN 150-8905

TEL: 81-3-3499-8091 FAX: 81-3-3499-8092